

## 富山県感染症発生動向速報

(2026年第15週分・4月6日～4月12日)

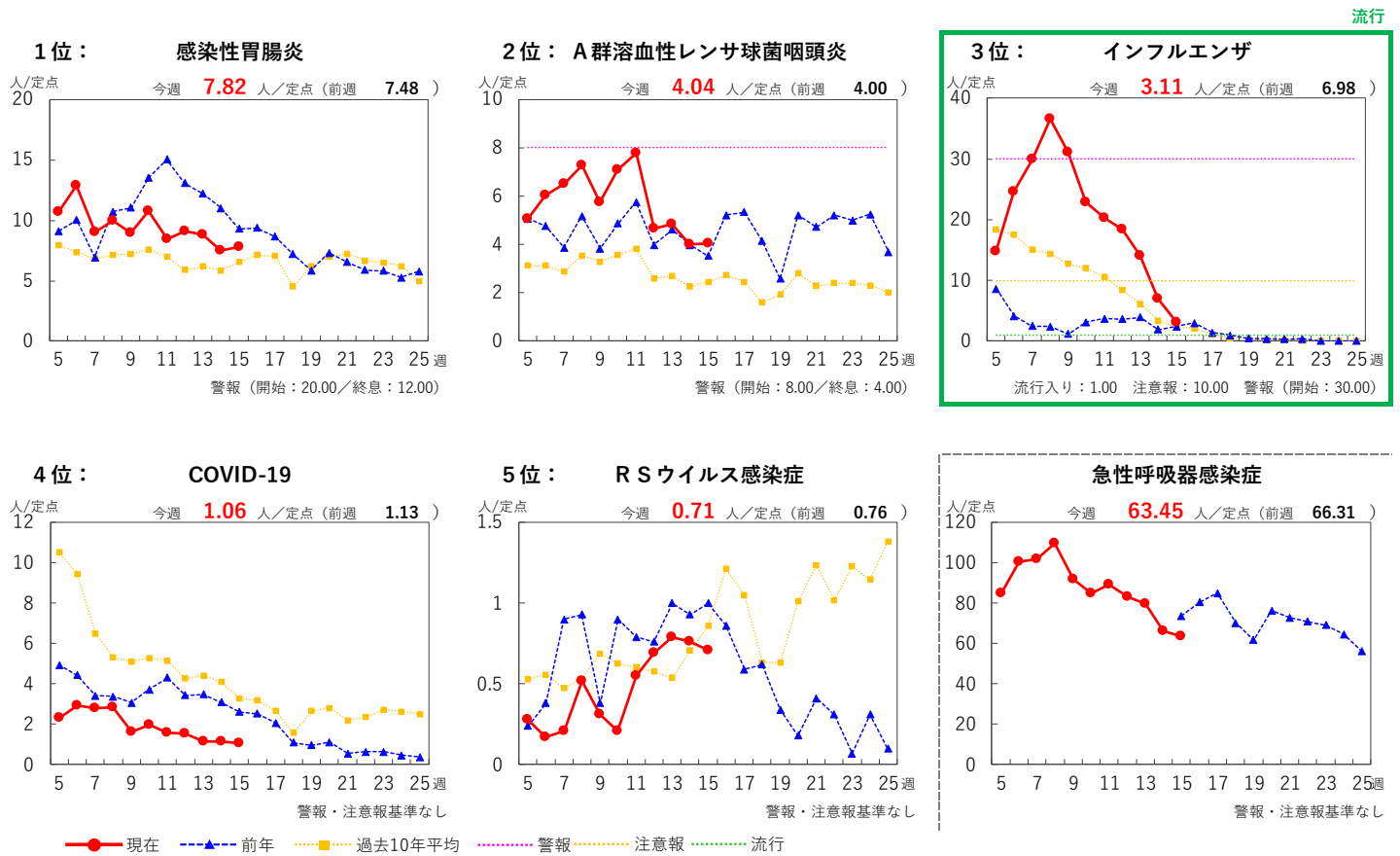
## ■今週の主な動向

○インフルエンザは減少傾向ですが、依然流行が継続しています。

インフルエンザの報告数は今週 3.11 人/定点となり、先週 (6.98) から更に減少しました。しかし、流行は継続しているため、引き続き、手洗いや咳エチケット、換気などの基本的な感染対策を心がけましょう。(インフルエンザの疫学所見、第9週インフォメーション参照)

## ■定点報告の感染症

今週の富山県内上位5疾患+急性呼吸器感染症 (第15週・4/6～4/12)

厚生センター (保健所) 管内別、直近の推移: <https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/#a-6>

## ■全数報告の感染症

- 二類感染症 結核 1件 (20歳代、男性)
- 三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1件 (10歳代、女性、O26、VT1VT2)
- 四類感染症 レジオネラ症 1件 (60歳代、男性、肺炎型)
- 五類感染症 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件 (60歳代、女性、A群)
- 水痘 (入院例) 1件 (60歳代、女性)
- 梅毒 1件 (30歳代、男性、早期顕症梅毒Ⅱ期)





## 小児も高齢者も、ワクチンで防ごう！肺炎球菌感染症

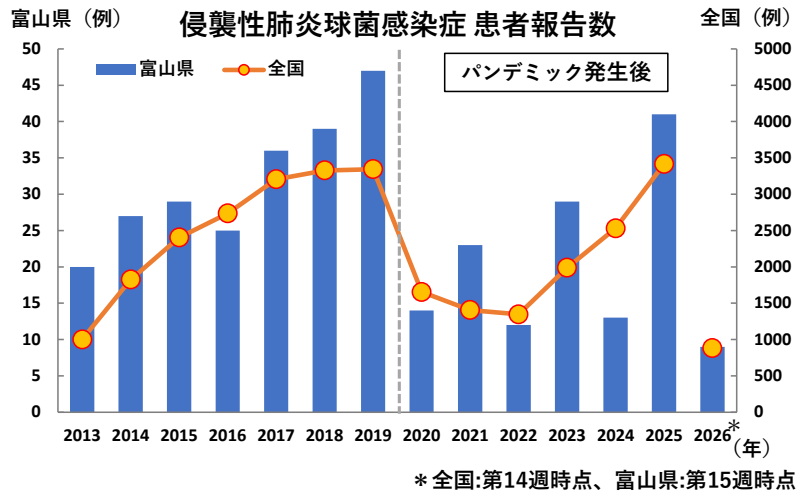
### 《 インフォメーション 》

#### ● 侵襲性肺炎球菌感染症

肺炎球菌は乳幼児の鼻咽頭に高頻度に保菌されており、小児、成人の主要な呼吸器病原性の細菌です。本菌は主に飛沫によって伝播すると考えられており、菌血症を伴わない中耳炎、副鼻腔炎、肺炎などの非侵襲性感染症を起こします。一方、本菌はときに髄膜炎や菌血症を伴う肺炎などの侵襲性肺炎球菌感染症（IPD）を起こします。このIPDは本菌が血液や髄液などの通常無菌的な検体から分離できた場合に診断され、2013年以降、五類全数把握疾患になっています。

全国及び富山県のIPD患者報告数は、2013～2019年には概ね増加傾向でした。しかし、新型コロナウイルス感染症のパンデミックが発生した2020～2022年には、報告数は減少しました。これはマスク着用等の感染対策による肺炎球菌の飛沫感染伝播が抑制された結果と考えられています。新型コロナウイルス感染症の五類移行に伴い感染対策の緩和が進んだ2023年には、IPD患者報告数は再び増加しました。2025年は全国で3,416例、富山県で41例報告され、新型コロナウイルス感染症流行前と同等の報告数となりました。2026年は全国で880例（第14週時点）、富山県で9例（第15週時点）報告されています（図）。

IPDは5歳未満の小児と60歳以上の成人で罹患率が高くなります。また、65歳以上の高齢者では、しばしば重症化します。特にインフルエンザ罹患後に二次性細菌感染として発症した場合は致死率が高まります（約30%）。早期診断、早期の抗菌薬治療が重要です。小児、高齢者においては、肺炎球菌ワクチン接種による感染予防が有効です。5歳未満の小児には20価もしくは15価肺炎球菌結合型ワクチンが定期接種として使用されており、生後2ヵ月から無料で接種できます（接種回数4回）。また、高齢者では、65歳の方と60～64歳で一定の基礎疾患がある方が定期接種の対象（自己負担有り、接種回数1回）です。今年度から、20価肺炎球菌結合型ワクチンが使用されています。詳しくは、[厚生労働省の高齢者の肺炎球菌ワクチン啓発リーフレット](#)をご確認ください。基礎疾患のない高齢者の定期接種の機会は65歳の1年間のみです。接種を希望される方は、忘れずに肺炎球菌ワクチンを接種しましょう。また、インフルエンザの流行期にはインフルエンザワクチンの接種も重要です。



○感染症発生動向調査報告状況（2026年第15週 2026年4月6日～2026年4月12日）

分類	疾患	今週報告分（第15週）						累積報告数（2026年第1週（2025年12月29日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
全数把握	二類感染症	結核				1	1	1		7	2	15	25	
		（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く				1	1	1		3	2	8	14	
	三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症				1	1					1	1	
	四類感染症	レジオネラ症				1	1	1	1	2	1	3	8	
	五類感染症	急性脳炎							1				1	2
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症					1	1			1	1	3	5
		侵襲性インフルエンザ菌感染症											2	2
		侵襲性肺炎球菌感染症							1		4		4	9
水痘（入院例）						1	1					1	1	
梅毒				1			1	2	2	2		6	12	
百日咳							1				7	8		
定点把握（上段：報告数、下段：定点医療機関当たりの報告数）	急性呼吸器感染症（ARI）定点（47定点）	急性呼吸器感染症（※1）	239	266	909	287	1,281	2,982	5,638	4,986	17,133	5,054	21,707	54,518
			34.14	53.20	69.92	41.00	85.40	63.45						
		インフルエンザ	13	13	43	32	45	146	1,420	1,184	3,283	1,395	4,587	11,869
			1.86	2.60	3.31	4.57	3.00	3.11						
		9	4	11	7	19	50	260	134	234	123	439	1,190	
		1.29	0.80	0.85	1.00	1.27	1.06							
	小児科定点（28定点）	RSウイルス感染症			9	5	6	20	21	9	60	20	76	186
					1.13	1.25	0.67	0.71						
		咽頭結膜熱	1	3	6			10	25	9	87		51	172
			0.25	1.00	0.75			0.36						
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	5	61	8	35	113	87	112	922	152	856	2,129
			1.00	1.67	7.63	2.00	3.89	4.04						
		感染性胃腸炎	23	33	30	8	125	219	418	331	804	180	1,907	3,640
			5.75	11.00	3.75	2.00	13.89	7.82						
		水痘		2			4	6	3	7	23	6	66	105
				0.67			0.44	0.21						
		手足口病		3	1			4		7	3		1	11
				1.00	0.13			0.14						
	伝染性紅斑							6	3	13	4	10	36	
	突発性発しん			1	1	2	4	5	11	37	11	32	96	
			0.13	0.25	0.22	0.14								
ヘルパンギーナ					2	2	13					3	16	
					0.22	0.07								
流行性耳下腺炎							1				5	6		
眼科定点（7定点）	流行性角結膜炎							7	1	1			9	
基幹定点（5定点）	細菌性髄膜炎											1	1	
	マイコプラズマ肺炎							8		2	2	3	15	
	クラミジア肺炎										2		2	
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）									1	1		2	
入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザ による入院患者（※2）	2				1	3	55	41	49	40	99	284	
	COVID-19 による入院患者	1		1	3		2	15	13	7	10	52	97	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 急性呼吸器感染症は2025年第15週（4/7～）より開始しました。（参考：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/topics/ari/>）

※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、2025年第36週（9/1～）の集計です。

## インフルエンザ情報（富山県の型別患者報告状況）

このデータは、定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。

現在、下の表によると、B型が91.8%となっています。

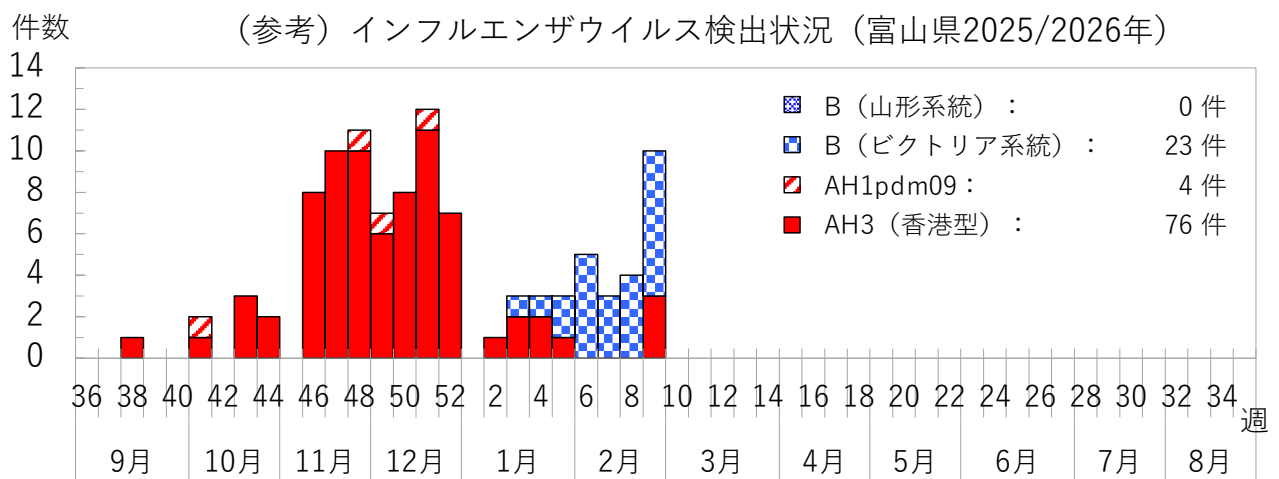
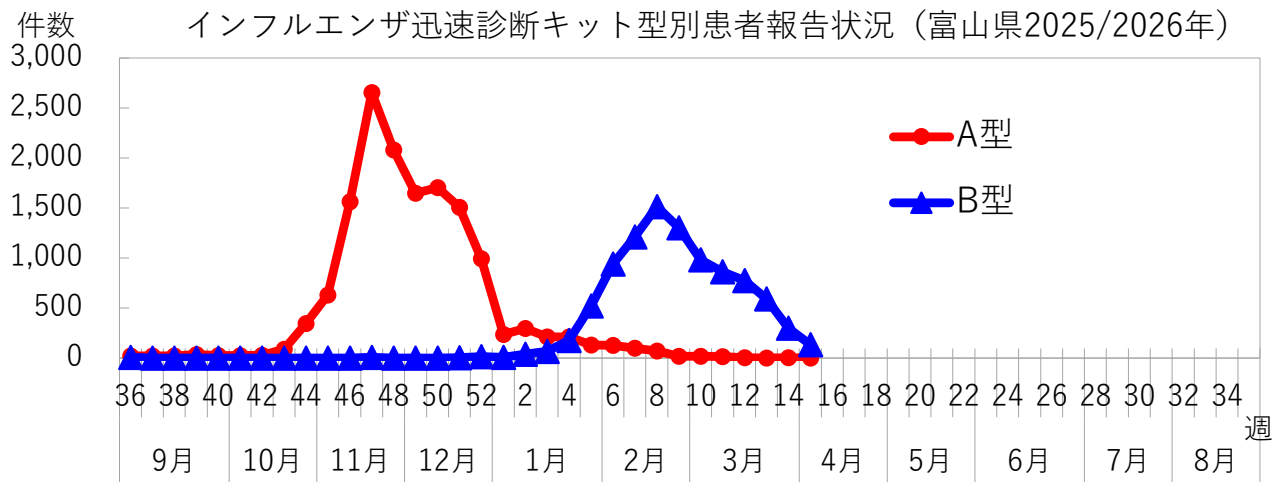
**第15週（4/6～4/12）：富山県 3.11人/定点**

（単位：件）

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 <sup>※2</sup>	合計
		A型	B型		
新川	3 / 7	0	13	0	13
中部	5 / 5	0	11	2	13
高岡	9 / 13	0	41	2	43
砺波	7 / 7	0	30	2	32
富山市	11 / 15	0	39	6	45
富山県	35 / 47 <sup>※1</sup>	0	134	12	146
富山県累計（2025年36週～）		14,852	9,479	2,154	26,485

※1 47の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が35か所あったことを示します。

※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。



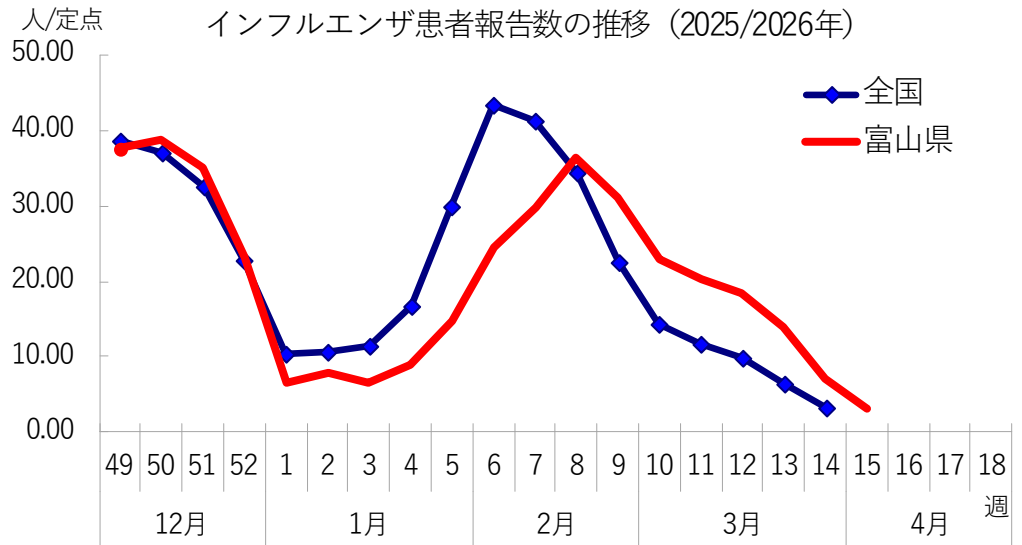
## インフルエンザ情報（全国、富山県の患者報告状況）

### ● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況 第15週（4/6～4/12）

**富山県 3.11人/定点** [新川（1.86）、中部（2.60）、高岡（3.31）、砺波（4.57）、富山市（3.00）]

今週の県内の患者報告数は、3.11人/定点となり、先週（6.98）より減少しました。

インフルエンザ患者報告数の推移（2025/2026年）

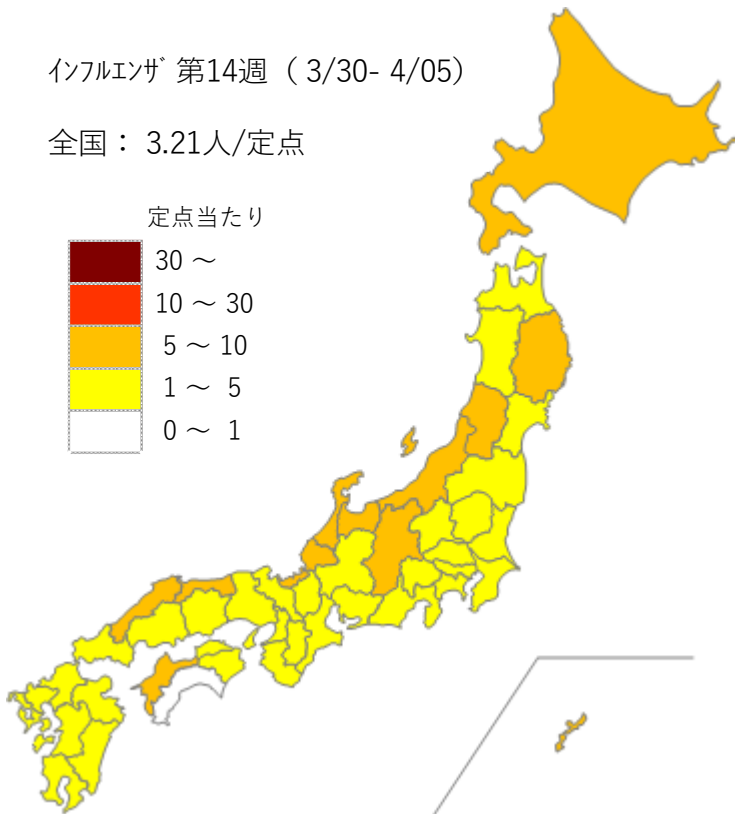
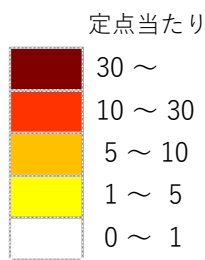


### ● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第14週（3/30～4/5）

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 3.21 人となり、前週の 6.46 人より減少しました。47 都道府県すべてで前週より減少しています。

インフルエンザ 第14週（3/30- 4/05）

全国：3.21人/定点



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	8.66 ↓	滋賀県	3.00 ↓
青森県	4.77 ↓	京都府	2.86 ↓
岩手県	5.74 ↓	大阪府	2.00 ↓
宮城県	3.55 ↓	兵庫県	2.51 ↓
秋田県	4.04 ↓	奈良県	3.17 ↓
山形県	6.51 ↓	和歌山県	2.76 ↓
福島県	3.80 ↓	鳥取県	6.41 ↓
茨城県	1.81 ↓	島根県	5.05 ↓
栃木県	2.66 ↓	岡山県	3.80 ↓
群馬県	3.60 ↓	広島県	3.23 ↓
埼玉県	2.64 ↓	山口県	3.95 ↓
千葉県	1.92 ↓	徳島県	3.73 ↓
東京都	2.25 ↓	香川県	1.61 ↓
神奈川県	2.02 ↓	愛媛県	5.00 ↓
新潟県	5.91 ↓	高知県	0.61 ↓
富山県	6.98 ↓	福岡県	2.98 ↓
石川県	6.19 ↓	佐賀県	2.42 ↓
福井県	5.56 ↓	長崎県	3.49 ↓
山梨県	1.89 ↓	熊本県	2.53 ↓
長野県	7.68 ↓	大分県	2.21 ↓
岐阜県	2.33 ↓	宮崎県	2.25 ↓
静岡県	1.38 ↓	鹿児島県	1.68 ↓
愛知県	2.61 ↓	沖縄県	6.64 ↓
三重県	1.93 ↓	<b>全国</b>	<b>3.21 ↓</b>

